

株式会社ニシケン

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年4月1日～2024年3月31日)



発行日:2024年5月20日

発行責任者:森 俊幸

1 取組対象組織・活動

事業者名及び代表者名

株式会社ニシケン

代表取締役 西村 浩一

所在地

本社 〒523-0876 滋賀県近江八幡市本町三丁目31番地

資材置場 〒523-0805 滋賀県近江八幡市円山町字岩崎925

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者：森 俊幸

連絡先： 0748-36-5375

連絡担当者：西村 さおり

連絡先： 0748-36-5375

事業活動の内容（認証・登録範囲）

土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、
舗装工事業、水道施設工事業

事業の規模

売上高 326 百万円／2023年

工事件数 139 件／2023年

全従業員 7 名

事業組織

面積：㎡	本社	資材置場
事務所床面積	78	—
倉庫床面積	9	—
駐車場面積	305	—
資材置場面積	—	923
従業員 名	7	0

過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	165,374	183,702	176,224
二酸化炭素の原単位排出量	Kg-CO ₂ /百万円	587.8	891.8	540.6
廃棄物の排出量	t	114.7	74.9	218.8
水の使用量、排水量	m ³	76	67	65

*事業活動期間は、8月1日～7月31日です。

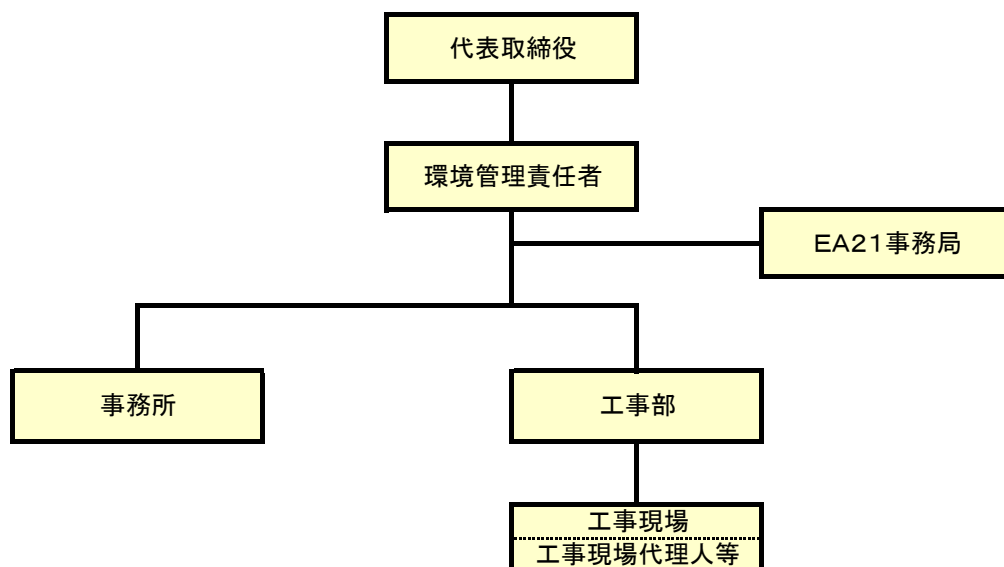
*環境活動期間は、4月1日～3月31日です。

*電力の排出係数は、関西電力㈱2020年の調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを使用

*化学物質の使用はありません。

2 実施体制図

EA21実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。) ③環境管理責任者を任命する。 ④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。 ⑤代表者による全体の評価と見直しを実施する。 ⑥環境経営レポートを承認・発行する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 ②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。 ③法規制等の遵守状況をチェックする。 ④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。 ⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。 ⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。 ⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ⑧E A 2 1に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とE A 2 1事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
E A 2 1 事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。 ②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。 ④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。 ⑤文書及び記録の管理保管。 ⑥外部コミュニケーションの窓口。 ⑦内部コミュニケーションの運営管理。 ⑧従業員に対する教育訓練の実施。 ⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。 ⑩環境経営レポートを作成する。
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

株式会社ニシケン

環境経営方針

環境理念

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社は、滋賀県の近江八幡市を中心とした舗装工事、土木工事、エクステリア工事及び土木資材販売の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - ☆ 事務所や建設現場で使用する電気や車両の燃料使用量を減し、二酸化炭素排出量を削減します。
 - ☆ 建設現場で発生する産業廃棄物は、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 環境に配慮した施工を推進します。
 - ☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日：2018年10月 1日

改定日：2019年 4月 1日

代表取締役

西村 浩一

3 環境経営目標とその実績

2021年度の実績を基準値として、2023年度から2025年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2023年4月1日から2024年3月31日までの運用実績について取りまとめました。

次年度						中長期	
環境経営方針	取組事項	年度 単位	基準年 2021年	取組年 2023年度 2023年4月～2024年3月		2024年	2025年
			(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
事務所や建設現場で使用する電気や車両の燃料使用量を減し、二酸化炭素排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	目標・基準年比達成率%	—	98%	100.5%	97%	96%
		使用量	14,388	14,100	14,465	13,956	13,812
		(kg-CO ₂)	5,050	4,949	5,077	4,899	4,848
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年比達成率%	—	98%	101.3%	97%	96%
		使用量	5,446	5,337	5,516	5,282	5,228
		(kg-CO ₂)	12,634	12,382	12,797	12,255	12,129
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年比達成率%	—	98%	107.8%	97%	96%
		使用量	56,025	54,904	60,407	54,344	53,784
		(kg-CO ₂)	144,544	141,653	155,851	140,208	138,762
	LPG使用量の削減 (単位：Kg) 建設現場	目標・基準年比達成率%	—	98%	79.5%	97%	96%
		使用量	1,048	1,027	833	1,017	1,007
		(kg-CO ₂)	3,145	3,082	2,499	3,051	3,020
二酸化炭素排出量の削減		目標・基準年比達成率%	—	99%	106.6%	98%	97%
		(kg-CO ₂)	165,374	162,066	176,224	160,413	158,759
二酸化炭素排出量売上百万円当り原単位削減		目標・基準年比達成率%	—	98%	60.6%	97%	96%
		CO2/百万円	892	874	541	865	856
建設現場で発生する産業廃棄物は、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比達成率%	—	—	125.0%	—	—
		(%/年)	99.90%	80%	99.99%	80%	80%
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位：m ³)	目標・基準年比達成率%	—	96%	85.5%	96%	96%
		(m ³ /年)	76	73.0	65.0	73.0	73.0
	濁水発生防止監視 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比達成率%	—	—	100%	—	—
		(%/年)	100%	100%	100%	100%	100%
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比達成率%	—	—	100%	—	—
		(%/年)	100%	100%	100%	100%	100%
環境活動の社会貢献を推進します。	美知メセナ活動や地域の美化活動に参加する。 (単位：回/年)	目標・取組年比達成率%	—	—	100%	—	—
		(回/年)	12	12	12	12	12

目標の説明や補足事項

- 購入電力の排出係数は、関西電力の2020年度調整後排出係数の0.351kg-CO₂/kWhを2022年から2024年の3ヶ年間固定する
- 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物に対して総排出量を把握し、性状等を勘案して97%の建設リサイクル率で管理する
- 水使用量については、事務所敷地内における水使用量の削減について実施する。また建設現場からの汚水・濁水防止監視を実施する
- 環境配慮施工では、低騒音・低振動型重機、排ガス規制適合車等の環境配慮車輛を使用する
- 社会貢献活動は美知メセナ活動に参加し実施する
- 化学物質の取扱いはないので、目標に掲げない
- 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組む

4 環境経営計画

環境経営方針	取組事項	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
事務所や建設現場で使用する電気や車両の燃料使用量を減し、二酸化炭素排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位: kWh)	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理 (夏季28℃±1℃)	事務部
	ガソリン使用量の削減 (単位: L)	① エコドライブ・アイドリングストップ ② 環境に配慮した稼働 ③ 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認	工事部
	軽油使用量の削減 (単位: L) 建設現場		
	LPG使用量の削減 (単位: Kg) 建設現場	① 環境に配慮した効率的な使用	
建設現場で発生する産業廃棄物は、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位: %) 建設現場	廃棄物 ① 建設廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。 ② 無駄な資機材を購入しない。 ③ 使用済みコピー用紙を再利用する。	工事部
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位: m ³)	① 洗車の水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	事務部
	濁水発生防止監視 (単位: %) 建設現場	① オイル吸着材の設置 ② 濁水発生の点検・監視	工事部
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の推進 (単位: %) 建設現場	① 排出ガス規制対応車輛や低騒音・低振動型バックホウを100%使用し、環境配慮施工を推進する。	工事部
環境活動の社会貢献を推進します。	美知メセナ活動や地域の美化活動に参加する。 (単位: 回/年)	① 美知メセナ活動に参加する。	工事部

取組の紹介

- 1 美知メセナ活動とは滋賀県と協定を締結して、地域の清掃活動をボランティアで行う活動です。
- 2 近江八幡市主催の地域環境美化活動である「ごみゼロ大作戦」に積極的に参加する。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

評価：○達成 △基準年達成 ×未達成

環境経営方針	取組事項	年度 単位	取組年 2023年度 2023年4月～2024年3月		評価	取組の評価	担当責任者
			(目標)	(実績)			
事務所や建設現場で使用する電気や車両の燃料使用量を減し、二酸化炭素排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	目標・基準年比 達成率%	98%	100.5%	×	不要時の消灯など取組みの結果昨年より減少しているが、冬場の電力使用に改善が必要	事務部
		使用量 (kg-CO ₂)	14,100	14,465			
			4,949	5,077			
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年比 達成率%	98%	101.3%	×	暖冬の影響で事務所のLPGは削減できたが、軽油の削減、燃費向上の検討が必要	工事部
		使用量 (kg-CO ₂)	5,337	5,516			
			12,382	12,797			
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年比 達成率%	98%	107.8%	×		
		使用量 (kg-CO ₂)	54,904	60,407			
			141,653	155,851			
	LPG使用量の削減 (単位：kg) 建設現場	目標・基準年比 達成率%	98%	79.5%	○		
		使用量 (kg-CO ₂)	1,027	833			
			3,082	2,499			
二酸化炭素排出量の削減		目標・基準年比 達成率%	99%	106.6%	×		
		(kg-CO ₂)	162,066	176,224			
二酸化炭素排出量売上百万円当り原単位削減		目標・基準年比 達成率%	98%	60.6%	○		
		CO2/百万円	873.9	540.6			
建設現場で発生する産業廃棄物は、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比 達成率%	-	125.0%	○	混合廃棄物の分別により排出量が削減できた	工事部
		(%/年)	80%	100.0%			
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位：m ³)	目標・基準年比 達成率%	96%	85.5%	○	ばらつきはあるが、削減できた	事務部
		(m ³ /年)	73.0	65.0			
	濁水発生防止監視 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比 達成率%	-	100%	○	濁水監視継続する	工事部
		(%/年)	100%	100%			
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比 達成率%	-	100%	○	新型機種の導入検討する	工事部
		(%/年)	100%	100%			
環境活動の社会貢献を推進します。	美知メセナ活動や地域の美化活動に参加する。 (単位：回/年)	目標・取組年比 達成率%	-	100%	○	環境活動の意識を高める	工事部
		(回/年)	12	12			

今年度の主な環境経営計画の実績・取組結果の内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、節電、アイドリングストップやエコドライブ、重機の効率的な稼働等の目標達成手段を実施した
- 2 廃棄物は総量を把握し、分別を実施して削減及び建設リサイクルに努めた
- 3 水使用量の削減では車両の洗車の使用量削減や流し放しで使用しないように努めた。また建設現場では濁水防止監視を実施した
- 4 環境配慮施工では低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車を使用した
- 5 環境美化活動は計画通り美知メセナ活動に参加した

次年度の主な環境経営計画の内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、節電、アイドリングストップやエコドライブ、重機の効率的な稼働等の目標達成手段を実施する
- 2 廃棄物は総量を把握し、分別を実施して削減及び建設リサイクルに努める
- 3 水使用量の削減では車両の洗車の使用量削減や流し放しで使用しないように努める。また建設現場では濁水防止監視を実施する
- 4 環境美化活動は計画通り美知メセナ活動に参加する
- 5 環境目標の達成取組と共に、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取組み、意識を持って全員で実践する
- 6 環境配慮施工では低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車を使用する。また、新型機の導入を検討する。

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反や訴訟等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
大気汚染防止法	建築物等の解体・補修時には石綿含有建材の事前調査	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券による適正処理	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券による適正処理	遵守
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出、保管	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検、引渡し、記録の保存、解体時の第1種特定製品の有無の事前確認、発注者に書面（事前確認書）を交付	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

昨年度新たに基準年度を変更し環境経営計画を設定しましたが、事業活動が回復基調となりエネルギーの消費が増加傾向にあります。今回2年目で計画変更は見送り、環境経営目標を達成するべく、全社員が取り組みを行ってきました。資材及び料金等の値上げもさらに厳しくなっています。見直しを実施し、事業活動の向上をめざし取り組みしていきたいと思います。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり